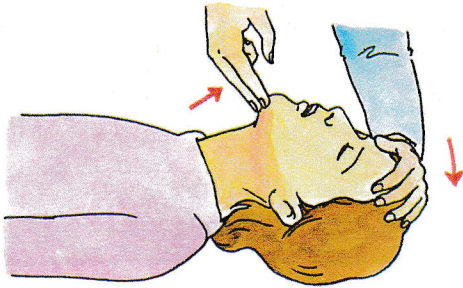


気道確保

意識を失うと舌が落ち込んで気道（呼吸をするための空気の通路）がふさがれ、息ができなくなるので、まず最初に気道を確保する必要があります。

通常の場合

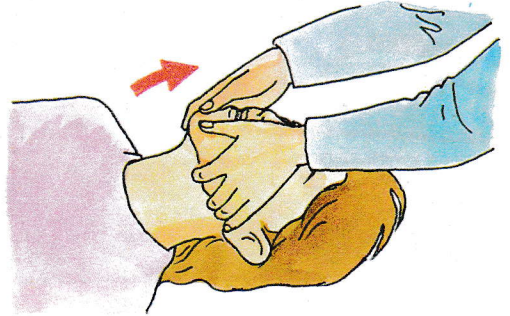
手を額^{ひたい}に置き、もう一方の手の人さし指、中指であごを支え、頭が後ろに傾くようにする。



首の骨の骨折が疑われる場合

つらく
【墜落、転落、プール飛び込みなどの事故】

傷病者の頭側に位置して、両手をあごに当て、そのまま引き上げる。



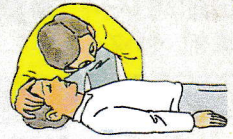
人工呼吸

呼吸がないときは、ただちに人工呼吸を始めてください。ただし口と口が直接接触することに躊躇がある場合などは、人工呼吸を省略して心臓マッサージに移っても構いません。

チェック!

呼吸の調べ方

口と鼻に自分のほおを近づけ、耳で聞き、息を感じ、同時に胸と腹の動きを見る。



① 額を押さえていた手の親指と人さし指で鼻をつまみ、鼻をふさぐ。

② 大きく口をあけて傷病者の口をおおい、1秒ほどかけて息を吹き込む。

乳児の場合は、口と鼻を同時にふさぐ。吹き込む量は胸が軽くふくらみ胃がふくらまない程度で。

③ 口と鼻をつまんでいた指を離し、息が吹き込まれて盛り上がった胸が沈むのを確認する。

④ ①～③の手順を2回繰り返したら人工呼吸の成功・失敗にかかわらずすぐに心臓マッサージを行う。

